

基本理念

- **社会全体のデジタル化を推進し、SDGs達成に貢献する。**
- **また、SDGs達成に向けた取組を通じて、我が国が掲げるSociety 5.0の理念を世界に広げ、持続可能かつ包摂的な社会をグローバルに実現する。**
- **これにより、産業構造・労働環境を効率化し、多様なライフスタイルの実現や新たな価値を創造できる豊かな社会を実現する。**

人間中心

持続可能性

多様性

6つの戦略

1. デジタル化によるSDGs達成戦略

地球上の誰一人として取り残さない社会の実現に向け、
官民の各セクターが相互に連携して社会全体の徹底的なデジタル化を進め、日本と世界の社会課題の解決を推進

- ICTによる社会課題解決モデル(SDGs×ICTモデル)を国内外で展開。
- 重点分野について、パイロットプロジェクトの実施、国際機関との連携を推進。
- 「質の高いICTインフラ」の国際スタンダード化を推進。
- 国内外のデジタル化の現状を分析した上で、ICTアクセスの確保やICTリテラシーの涵養等によるデジタル格差の解消を推進。
- デジタル人材の育成・確保
- テレワークの推進等による女性のデジタル経済への参画を促進。
- 中小企業を含む、あらゆる産業におけるデジタル化を推進。
- アジャイル型研究開発(自治体や利用者のニーズを吸い上げるフィールドトライアルによるICTの高度化・汎用化)。
- 研究開発成果のビジネス化の加速化。
- ベンチャー企業の先導的技術の利用を促進。

2. データ流通戦略

データの自由な流通の重要性を海外に向けて
発信するとともに、個人によるデータコントロール
の確保に向けた取組を推進

- データの自由な流通を一層推進するための信頼性(トラスト)の向上(個人情報保護、サイバーセキュリティの強化、知的財産の保護等)。
- 信頼性に関する国際的な評価指標を検討。
- データの特性に応じた分類やその取扱い等を検討。
- データの改ざんや送信元のなりすまし等を防止する仕組み(トラストサービス)の制度化を推進。
- データポータビリティの在り方を検討し、「情報銀行」の社会実装や国際的なルール形成、「データ取引市場」における公正な競争、デジタルプラットフォームを巡る取引環境の整備を推進。

3. AI/IoT利活用戦略

AIを人々のより良い生活につなげていくという
「AI時代の未来像」を国内外に発信

- AIによって産業構造・労働環境を効率化することで、人々のライフスタイルが豊かになり、新しい雇用や産業を創出することができるという考え方を発信。
- 人間中心のAI原則の共有やインクルーシブなAI経済社会の実現に向けたデータの役割の検討を推進。
- リアルデータ・知識を活用したAI/IoTを推進。
- 人材の確保・育成を推進。女性人材の育成も重要。

4. サイバーセキュリティ戦略

IoT機器・サービスの急速な普及等による
社会変化に対応したセキュリティに関する
共通認識を各国と醸成

- 産学官・市民社会が連携し、サイバーセキュリティの向上を推進。
- 実践的な対処能力を有する人材の確保・育成や人材育成のエコシステムの構築を推進。
- 世界の優れた技術を取り込むとともに、自国技術の育成を推進。

5. ICT海外展開戦略

日本が培った信頼性の活用、ルール形成への
関与やキャパシティビルディングへの支援等による
海外展開を推進

- 官・民・支援組織が役割分担し、地域ごとの海外展開事例、課題、ノウハウ等を共有するなど一体的に海外展開を推進。
- 海外での展開を前提とした開発や事業化を推進。
- 「モノ」だけでなく、成長分野である「サービス」や「プラットフォーム」の海外展開を推進。
- 我が国が培った「信頼性」を強みとして活用し、海外展開を推進。

6. オープンイノベーション戦略

2030年代の具体的な将来像の実現に向けたキーテクノロジーの高度化を推進

- キーテクノロジーについて以下の方向性の下で重点的に研究開発を推進。
※2025年の大阪・関西万博では、キーテクノロジーやそれを用いた新たなサービスをショーケースとして示すことで、国内外に我が国技術の先進性を広くアピール。
- ① 人間を中心とした次世代コミュニケーション技術等により、身体、言語の能力や時間・空間の壁を超え、生活の質を向上(次世代AI・ロボット、脳情報通信、超臨場感伝達等)
 - ② 盗聴されない安全性の高い通信技術等により、安全安心なデータ主導社会を実現(センシング・IoT、サイバーセキュリティ、量子ICT等)
 - ③ 現在の数百倍の通信速度を実現する超高速通信技術等により、未来を支える高度なネットワークインフラを構築(革新的ネットワーク、次世代ワイヤレス、宇宙ICT等)
- オープンイノベーションを促進する環境整備(最先端テストベッド、電波エミュレータ)。諸外国との戦略的パートナーシップの構築。ビジネス視点の国際標準化の実現。トップ級の研究開発人材確保に向けた環境整備・人材育成。